

# 自分の思いを安心して伝え合える学級づくり ～「絆ノート」と学校グループワーク・トレーニングの実践を通して～

生徒指導・教育相談班 大芦 純（小学校教諭）

## ☆研究の概要

本研究は、自分の思いを伝え合う「絆ノート」作りや学校グループワーク・トレーニング（以下GWT）を取り入れた授業実践を行うことにより、級友との絆を作り、学級の中に自分の存在感や安心感を持てるようになり、その結果自分の思いを安心して伝え合えるようになるであろうと考え、実践研究したものである。さらに「絆ノート」を活用し、思いを伝える経験を重ねることや、GWTにおいて話すこと・聴くこと等の大切さを学び、成功体験を重ねることで自分に自信を持てるようになれば、思いを伝えることをためらわず、自信を持って発言できるようになるであろうと考え、実践を進めた。

### 絆ノートとは

- 毎日一人ずつ自分の日常生活での出来事や趣味について自由に綴る mixi(思いを綴ると、友人と意見交換ができるSNS)のノート版である。
- 共感的なコメントを書くというルールで、ノートに記入することを通して級友とのつながりを作る。
- 記入後、朝の会で自分の綴ったノートの内容についての感想を語る。
- 年間を通して実施する。

### 学校グループワーク・トレーニングとは

- ①少人数のグループで情報を伝える、話すということを経験し、自分の思いを伝えることの大切さや思いを伝えられたことの喜びを感じる。
- ②級友の話を聞く大切さに気付く。
- ③協力し合うことで課題を解決する楽しさ、喜びを体験を通して学ぶ。
- ④振り返りの中で、自分のがんばったこと、よくできたことを振り返り、級友のよさについても認め合い、褒め合い、成功体験を重ねる。

## ☆実践内容

児童の実態（6年）

自分の思いを級友に伝えられない

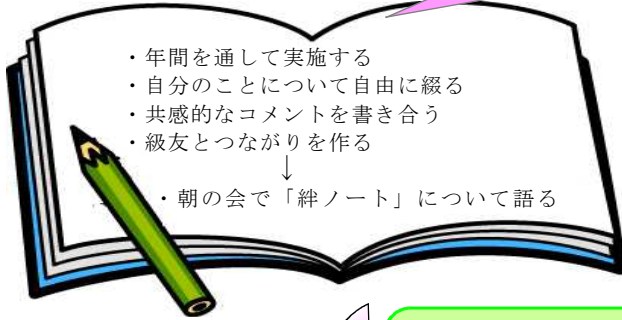
・児童の実態把握（授業中の様子・5月のC&S質問紙の結果から）

### 絆ノートの作成と活用

・伝えることに自信が持てない女子児童が多い

そこで…

文章で思いを伝え合う



### 学校グループワーク・トレーニングの実践

・学級の中に何でも話せる雰囲気がない

そこで…

話して伝える成功体験を重ねる

学校グループワーク・トレーニングの実践計画  
(番号は上記GWTの説明の番号)

- ・5月「ぼくらは 探偵団」①②
- ・6月「先生ばかりが住んでいるマンション」③
- ・7月「私たちのお店屋さん」③
- ・8月「みんなでアート！自然で遊ぼう考えよう」③
- ・10月「財宝を探せ！6-2バージョン」③④
- ・11月「ヒーローさがし！あの名場面！名ゼリフ！」④

あたたかい雰囲気

私は〇〇だと思います。  
みなさんはどう思いますか？



学級の中での存在感・思いを受け入れてもらえる安心感

- ・「絆ノート」の内容を伝えることやGWTの課題を解決することで成功体験を重ねる
- ・児童の変容観察（授業中の様子・11月のC&S質問紙の結果から）

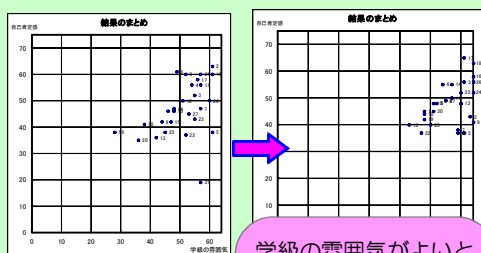
### 自分の思いを安心して伝え合える学級

- ・自信を持って発言できる
- ・級友の思いを認め合い、受け入れられる

思いを伝えられたと  
いう成功体験を重ねる  
ことが大事！



### ☆C&S質問紙の結果（5月→11月）



### ☆成果と課題

これまでの実践を通して、級友との絆を作り、自分の思いを伝える経験を重ねた結果、C&S質問紙の結果において学級の雰囲気がよと感じる児童が増えた。また、学級の中に存在感や安心感を感じ、伝えることにおける成功体験を重ねることで自分に自信を持ち、自己肯定感を高めることにつながったと考える。学級の雰囲気があたたかくなり、互いの思いを認め合い、受け入れ合える人間関係を築くことが、自分の思いを安心して伝え合える学級づくりに有効であると言える。

児童の興味が持続するような内容になるように声かけをすることが、「絆ノート」を継続させるための課題である。また、GWTでは学級の実態に合わせて人数や内容を工夫することが今後の課題である。